

創業者出身地への学生派遣プログラム 2013 熟議FINAL

11月16日（土）、6月のガイダンスを皮切りに約半年にわたり活動してきた「創業者出身地への学生派遣プログラム2013」について、参加学生6名と社会連携機構スタッフ7名が座談会形式にて振り返りを行う「熟議FINAL」を実施しました。この「熟議FINAL」は、プログラム全般や取り組んだテーマ、次年度のプログラムに望むことなどについて検討し、今年度のプログラムを総括するとともにその課題と解決策をまとめ、次年度のプログラムへの改善案を提案することを目的としています。今年度のプログラムに新たに取り入れられた「ファシリテーション研修」「1泊2日での現地事前調査」「全地域合同での成果報告会」は、実際に昨年度の熟議FINALで提案を受けた取り組みです。

参加者

No.	氏名	参加地域	所属・学年
1	河邊 崇弘	鳥取県	政治経済学部・4年
2	村山 将人	天童市	法学部・3年
3	近藤 達志	天童市	法学部・3年
4	永合 健輔	天童市	専門職大学院ガバナンス研究科・2年
5	池本 卓麻	鯖江市	商学部・2年
6	山上 源太	鯖江市	政治経済学部・3年
7	藤江 昌嗣	鳥取県・鯖江市	社会連携機構長
8	須田 努	鯖江市・天童市	地域連携推進センター長
9	源 由理子	鳥取県	地域連携推進センター副センター長
10	山崎 由美子	鯖江市	社会連携事務長
11	柳 光弘	天童市	社会連携事務室
12	小島 基史	鳥取県	社会連携事務室
13	新井 友里恵	天童市・鯖江市	社会連携事務室

熟議内容

- ①プログラム全般について（熟議を用いた地域の人々との交流、事前学習、現地フィールドワークなど）
- ②テーマについて（プログラムテーマ）
- ③プログラムの感想（得られたもの、気づいたこと、良かった点、悪かった点）
- ④次年度のプログラムに望むこと、今後取り組んでみたいプログラム内容について

今回のプログラムの課題と解決策をまとめ、次年度のプログラムについての提案をまとめる。

